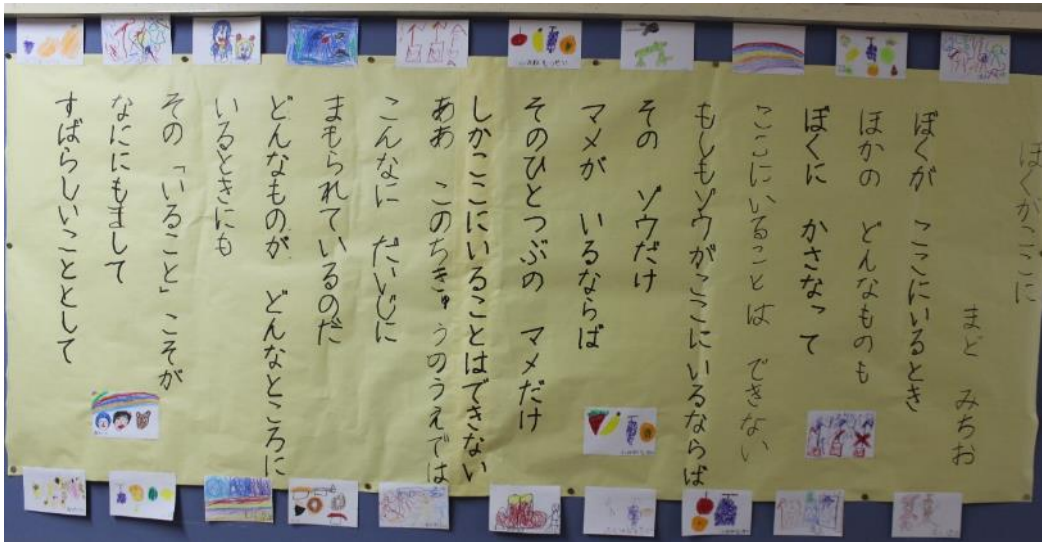


# ほっと ハート

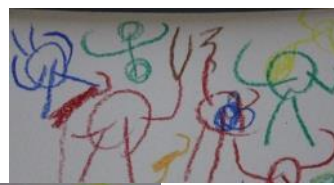
## ここにいること、それはとてもすばらしいこと



南校舎1階の会議室前にある「今月の詩」掲示板、12月はひばり学級の詩です。ひばり学級でははまどみちおさんの『ぼくがここに』という詩で掲示物作りをしてくれました。

この詩は、『存在』についての詩です。この詩の中ではまどみちおさんは、「その『いること』こそがなににもまして すばらしいこととして」「このちきゅうのうえでは こんなに だいに まもられている」としています。自分と言う存在が素晴らしいことであり、大事に守られるべきものであることが伝わってほしい、そして、自分らしく歩んでほしいという願いを込めて、この詩を選んだそうです。詩の周りには、「自分の大好きなもの」の絵がたくさん飾られています。大好きなものがあることも大切な自分らしさの一つです。ていねいに描かれた絵から、大好きという思いが伝わってきます。

ぜひ、保護者の皆様も、上のはまどみちおさんの『ぼくがここに』の詩を読んでみて下さい。そして今、近くにいる子供たちに、そこに『いること』が素晴らしいと保護者の皆様の口から伝えてあげてください。





## 「普通」とは

〇年〇組担任 〇〇 〇〇

周りの大人から「普通にいたほうがいい」・「無難な人生がいい」という言葉をよく耳にし、悪いことや困難が起こらない人生は良い人生になると考えていた。ただ、自分の好きな事を見つけ、それを極めようとした時、そこで活躍してる人の共通点は「常識とは違う」や「普通ではそのアイデアは浮かばない」など、天才的な思考の持ち主など逸脱した人ばかりであった。

「どうやったらこの天才たちに勝てるのだろう。」ずっと考え抜いた結果、今まで良いと言われた「普通に生きること」をやめ、常識を疑う逆転の発想をするようになった。すると今までに無い難しさを感じ、何度も身も心が折れそうになってしまった。ある日のテレビ番組で、「普通に生きる」ことを題材にした番組があった。その内容に、「無難とは、難しいことが無い。素敵な人生だよ。でもそれだと変化は起きない、難しいことが有ると書いて、ありがたいって読む。昔の人ってすごいよね。」と言っていた。

「そうか、今感じている難しさは、後に自分のためになる。」と感じ引き続き変化を求める生活を探求していた。

ある時、人とは逆の行動をとりすぎてしまい、何が正しいのか迷走してしまう時期があった。大学時代の恩師に相談に行った時にもらった言葉が今でも心に残っている。

「 $A+B+C+D=E$  を目指しなさい。」

A→当たり前のこと B→バカにしないで C→ちゃんと  
D→できる人 E→良い選手(人)

その時、土台となる「普通」があったからこそ、逆転の発想は生かされることに気づき、目の前にあった大切なことを見失っていたことに気づいた。

まだ、私は日々挑戦を繰り返している。子どもの頃に夢見たスーパーマンのような、周りから「すごい人」と言われたい。超人になりたい。そのためには1分1秒も無駄にできない。そして何より、「誰でもすごい人になれる。」という事を未来ある子ども達に伝え、輝かしく、楽しい「普通の人生」を送ってもらいたいと考えている。